施工説明書

INAX

システムマーベリイナ
マーベリイナカウンター

MB-350A
MB-351A

手洗いアークタイプ

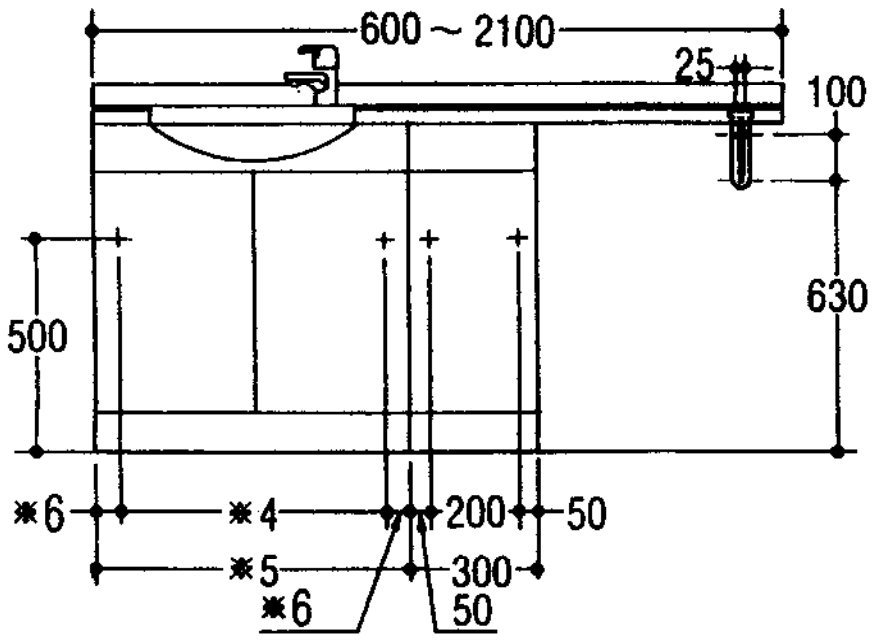
施工される前に

- 施工に際しては、必ずこの施工説明書に従い正しく施工してください。
  ※この施工説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますので十分ご注意ください。
- 「保証書(取扱説明書裏表紙)」は貴店名、据付年月日を忘れずに記入の上、必ずお客様にお渡しください。
- 施工段階での欠陥工事は、製造物責任法に基づき二次責任が問われる場合がありますことを十分にご認識いただき、お客様が安全で快適にご使用できるようご協力ください。

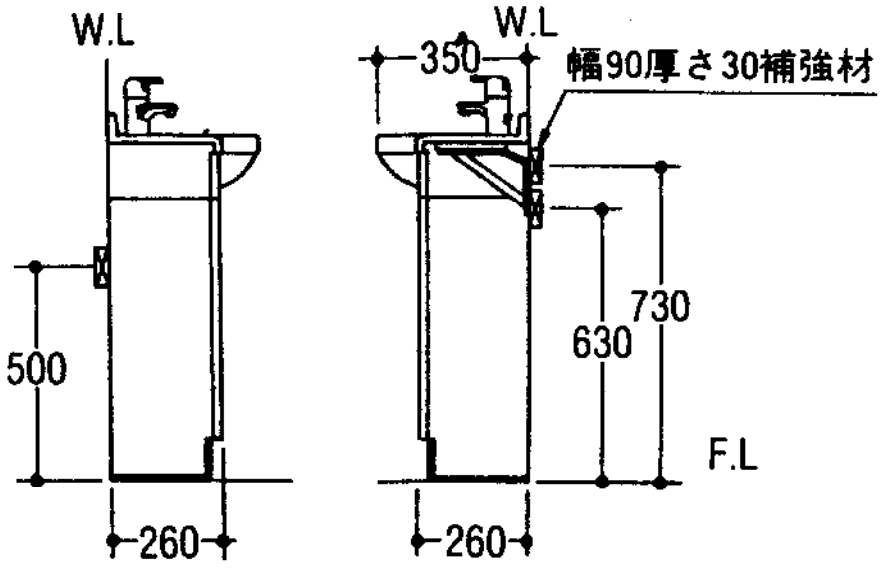
■寸法図

キャビネット及びブラケットをねじ固定する位置に補強桟が設置されているか確認してください。

●キャビネット固定の場合



●ブラケット固定の場合



安全のために必ずお守りください

- ここでは施工に際して守らないと人身事故や家財の損害に結び付く注意事項を挙げています。
  施工前にこの項目をよくお読みいただき、正しく施工してください。

用語および記号の説明

警告…「守らないと重傷を負うことがあります。」
注意…「守らないと、けがをしたり、物が壊れたりすることがあります。」
⚠ …「注意しなさい/」(上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)
🚫 …「してはいけません/」(一般的な禁止記号です。)
🚫 …「分解してはいけません/」
❗ …「指示通りにしなさい/」(一般的な行動指示記号です。)

⚠ 警告

ストーブやヒーターなど熱を発生するものを近くに置いて使わないでください。
※変色や変形、火災をおこす恐れがあります。

⚠ 注意

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
  ※ケガや故障が生じる恐れがあります。
- 直射日光が当たる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。またスポット照明や殺菌灯を直接当てないでください。

※変色や変形の恐れがあります。

- この説明書以外の壁仕様(ALC壁など)の場合はキャビネットの取付けをしないでください。
  ※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。
- 蝶番の調節後は必ず、Aねじ、Bねじ、Cねじが固く締め付けられていることを確認してください。(扉の調節)
  ※締め付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。

お願い

- 浴室などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。
  ※木部が水を含んで腐ったりする恐れがあります。
- 酸性、アルカリ性および塩素系の洗剤類
  ベンジン、シンナー、ラッカー、アルコール等の溶剤や油類を使用して本体を拭かないでください。
  ※変色や変形の恐れがあります。(溶剤がつきますと跡が残ることがあります。)

株式会社INAX
本　　社 ☎0569-35-2700
横浜支社 ☎045-242-1710
甲信支社 ☎0263-36-2166
京滋支社 ☎075-222-1794
札幌支社 ☎011-271-1701
千葉支社 ☎043-227-8171
名古屋支社 ☎052-201-1717
広島支社 ☎082-223-1710
東北支社 ☎022-263-1710
埼玉支社 ☎048-668-1177
静岡支社 ☎054-251-1710
四国支社 ☎0878-21-1701
東京支社 ☎03-5541-7111
東関東支社 ☎0286-37-3378
北陸支社 ☎0762-64-1710
福岡支社 ☎092-471-1710
西東京支社 ☎0425-27-3341
関越支社 ☎0273-27-1793
大阪支社 ☎ 06-539-3500
南九州支社 ☎096-322-1794

PMB-0004(95061)

施工前の確認

1.給水、給湯の確認

給水・給湯の条件、水栓金具の設置条件は別紙説明書（水栓金具に付属）をご覧ください。

2.配管工事の確認

※給水、給湯管および排水管が所定の位置に指定の給排水管仕様で取り出してあるか確認してください。

※給水、給湯管の取出し位置および仕様は設計用図面集をご参照ください。

3.電源の確認

●電源はAC100Vをお使いください。
電源は必ず電気設備規準、内線規定に準じた配線でブレーカー（100V、15A）の設置された100V用コンセントからお取りください。

●電気配線工事（建築側配線とシステムミラーの接続）は電気工事登録業者に依頼してください。

●システムミラーを2台以上の設置や、システムミラーにミドルキャビネット（コンセント付）を並用される設置で、各コンセントにおいて同時使用される場合は専用回路が必要です。

●以上の項目において、詳しくは電気工事登録業者にご相談ください。

・システムミラー最大消費電力　1350W/1台（内コンセント2個合計1200W以下）

・ミドルキャビネット（コンセント付）　最大消費電力1200W/1台（コンセント1個1200W以下）

4.壁面工事の確認

（壁材、下地材の確認）

●キャビネットの取付可能な壁面は右図に示す(1)、(2)の場合のみです。
(1)乾式壁3種
(2)湿式壁2種
以上5種類の壁面

（補強木、仕上げ材の厚みの確認）

●キャビネットの取付けには湿式壁以外の場合、壁面に補強木（幅90mm×厚み30mm以上）が指定の位置（寸法図参照）に必ず必要です。あらかじめ建築施工の際に補強木を設けてください。直接、壁の仕上げ材にキャビネットの取り付けはしないでください。

●乾式壁の場合、補強木手前の仕上げ材は取付ねじを補強木にとどかせるため必ずトータルの厚みで12.5mm以下のものを用いてください。

●湿式壁の場合は、AYボルトをコンクリートにとどかせるため、モルタル、タイルの仕上げはトータルの厚みで20mm以下としてください。

また、壁本体がコンクリートブロックの場合は中空部をモルタル詰めしてください。

（壁の不陸について）

●キャビネット取付壁面の不陸は5mm／2m以下であることを確認してください。（キャビネット本体を壁に当て、壁との隙間が5mm以下であることを確認してください）

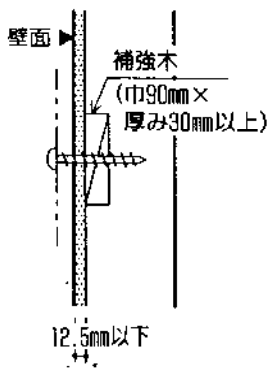
⚠ 注意

この説明書以外の壁仕様（ALC壁など）の場合はキャビネットの取付けをしないでください。

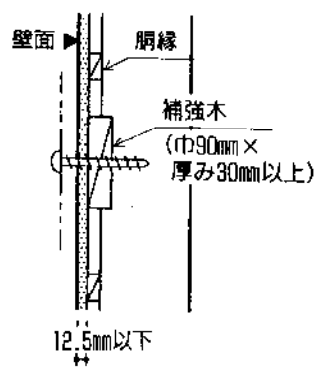
※キャビネットの取付強度が保てず落下する恐れがあります。必ず壁の施工のやり直しを行ってください。

(1)乾式壁

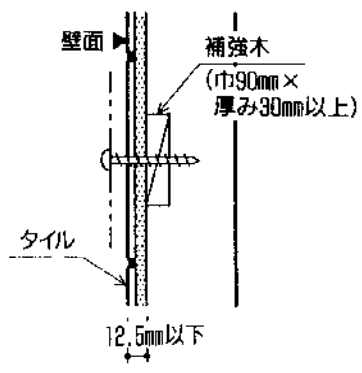
●ボード類直張り



●ボード類胴縁取付け

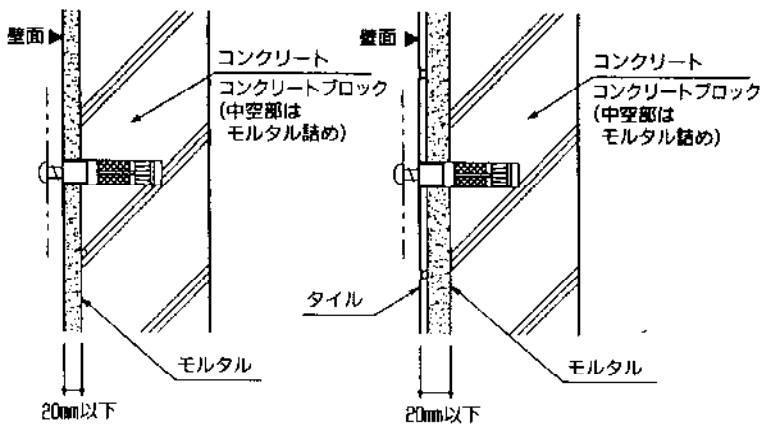


●タイル仕上げ



(2)湿式壁

●モルタル仕上げ　●タイル仕上げ



壁本体がコンクリートブロックの場合は中空部をモルタル詰めしてください。

5.床面の確認

●設置する床は水平で著しい凹凸や不陸がないことを確認してください。

●床面は強固でぐらつき、たわみが生じないことを確認してください。

※キャビネットがぐらついたり、取付精度（納まり）が悪くなるおそれがあります。

お願い

浴室などの高温多湿な場所や水が浸る可能性がある床面には設置しないでください。

※木部が水を含んで腐ったりする恐れがあります。

5.施工方法の確認

キャビネット設置タイプとブラケット設置タイプがあり、施工方法が異なります。

施工方法の項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
キャビネット設置タイプ	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○
ブラケット設置タイプ	○							○	○	○

※△は、キャビネット＋ブラケット設置タイプの場合。

施工方法

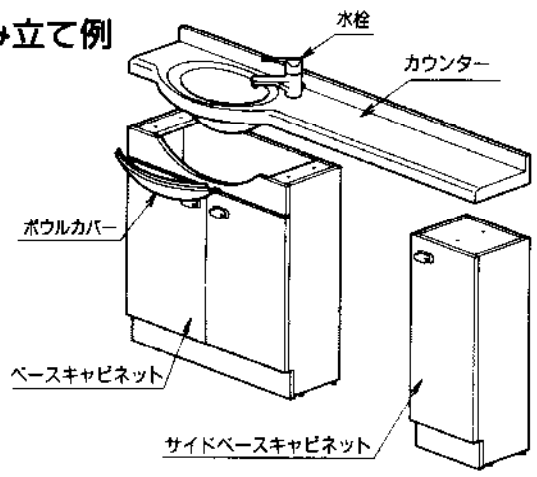
- 乾式壁(補強木)へのキャビネット、ブラケット取付の場合には、付属ねじ(φ6.0×50㎜)をご使用下さい。
- 湿式壁へのキャビネット取付にはAYボルト(AY-34W、φ6.0×50㎜)を別途手配し、ご使用ください。カウンター固定用のブラケットはAY仕様のブラケットを手配してください。

壁への下孔は、φ11.0、深さ60㎜をあけ切粉をよく取り除きます。

電動ドリルを使用し、正確に下孔をあけてください。

- システムマーベリイナの場合はキャビネットおよびブラケット対応できます。
  マーベリイナカウンターの場合はブラケット対応のみです。

●組み立て例

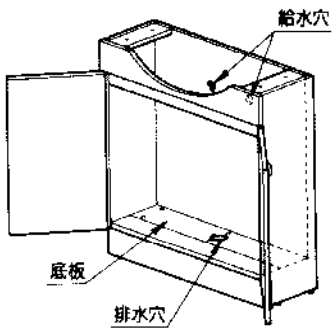


1 水栓金具の取付け

水栓金具を手洗器に取り付けます。

2 ベースキャビネットへの給水管・排水管穴あけ

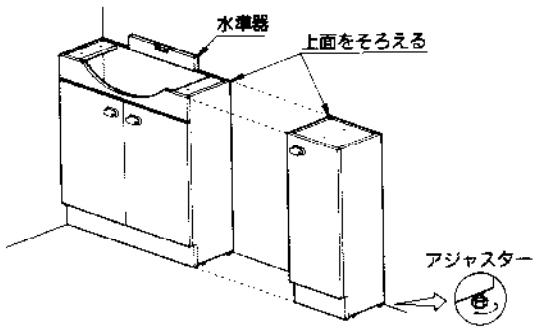
ベースキャビネットは、現場の給水・排水位置を確認し、管径に合わせて穴をあけます。



※底板は着脱式になっています。取付ねじを外して底板を取り出して穴あけをしてください。

3 キャビネットの設置

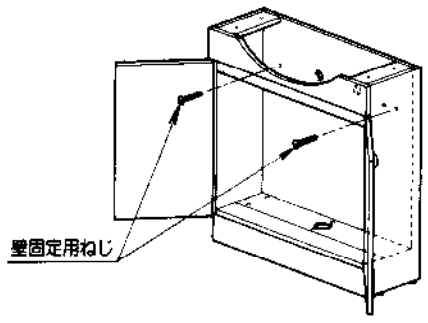
キャビネットのレイアウトを確認し、仮設置します。左右のキャビネット間に角材などを渡し、水準器で左右のキャビネットが水平になるように、またガタツキがないように各キャビネットのアジャスターを調節します。



※キャビネットの上面が揃うように設置してください。
※端のキャビネットが壁に接する場合は、壁側より設置してください。

4 キャビネットの壁固定

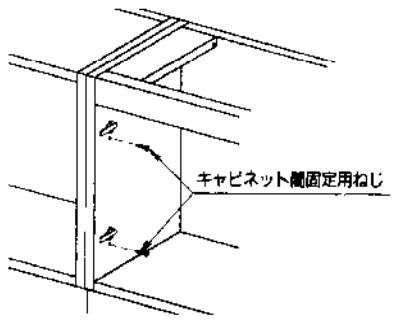
仮設置した各キャビネットの内側より、壁固定用ねじ(φ4.0×　㎜)(付属部品)で壁に固定します。(左右2箇所)



※隣接するキャビネットがある場合は上面および前面を合わせてください。

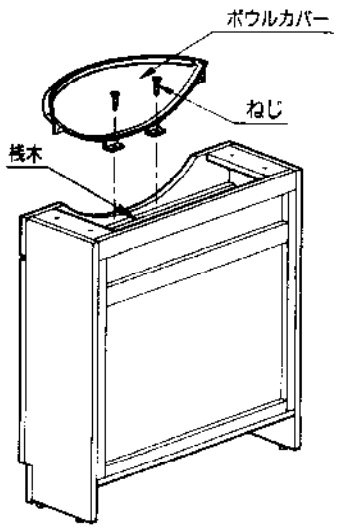
5 キャビネットの連結

隣接するキャビネットとすき間が生ずる場合は、キャビネット間固定用ねじ(付属部品)で固定します。(蝶番の下方、上下2箇所)



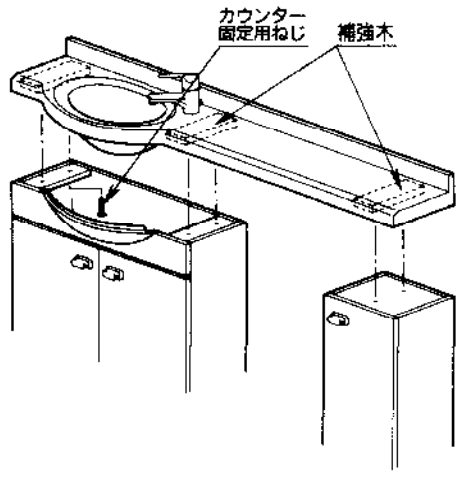
6 ボウルカバーの取付け

(1)ボウルカバーを幕板にはめ込みます。
(2)ボウルカバーが水平に設置されていることを確かめてから、ねじでキャビネット内側の桟木に固定します。



7 カウンターとキャビネットの固定

(1)カウンターを設置し、キャビネットとの納まりおよびカウンター高さおよび水平を確認します。
(2)キャビネットの内側から、カウンター固定用ねじ(付属部品)でカウンター裏面の補強木に固定します。



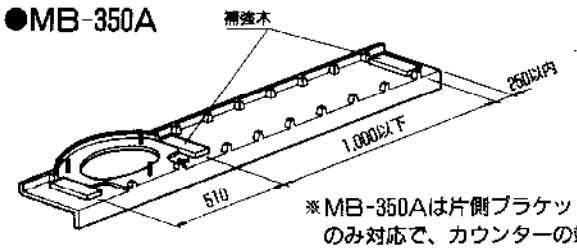
8 ブラケットの取付け (ブラケットを用いる場合)

(1)ブラケットの位置決め

①ブラケット取付間隔

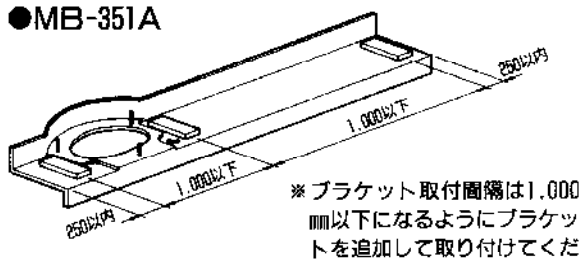
カウンターのそり、たわみ等を防止するため、次の項目を必ず守って取り付けます。
ブラケットの取付位置は、カウンターの要支持箇所に補強木を接着していますので、この位置をブラケットの取付位置とします。

●MB-350A



※MB-350Aは片側ブラケットのみ対応で、カウンターの端面より250㎜以内の位置に取り付けてください。

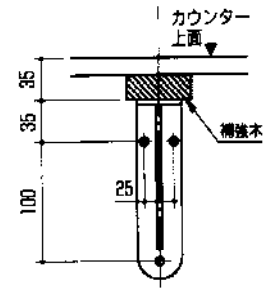
●MB-351A



※ブラケット取付間隔は1,000㎜以下になるようにブラケットを追加して取り付けてください。
※カウンターの両端を支えるブラケットは、カウンターの端面から250㎜以内に取り付けてください。

②ブラケット取付高さ

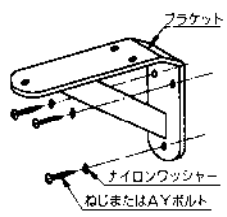
カウンター部の厚み(35㎜)を考慮し、ブラケット上面をあらかじめ下げて芯出しをします。



(2)ブラケットの取付け

①ブラケットを壁に固定します。

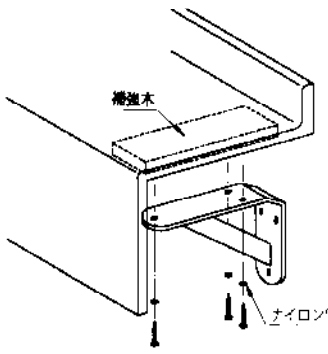
壁にねじ(φ6.0×50㎜、付属品)またはAYボルト((φ6.0×50㎜)付属部品)で強固に固定します。



※AYボルトの場合はAY仕様のブラケットを手配してください。
※ブラケットとねじの間にナイロンワッシャー(付属部品)を入れて固定してください。

②カウンターを固定します。

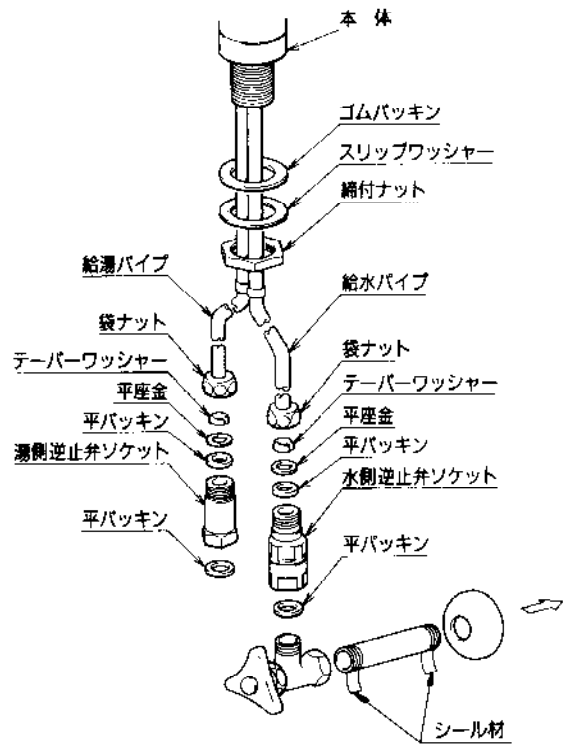
カウンターをブラケットに載せ、カウンター固定用ねじ(付属部品)で固定します。



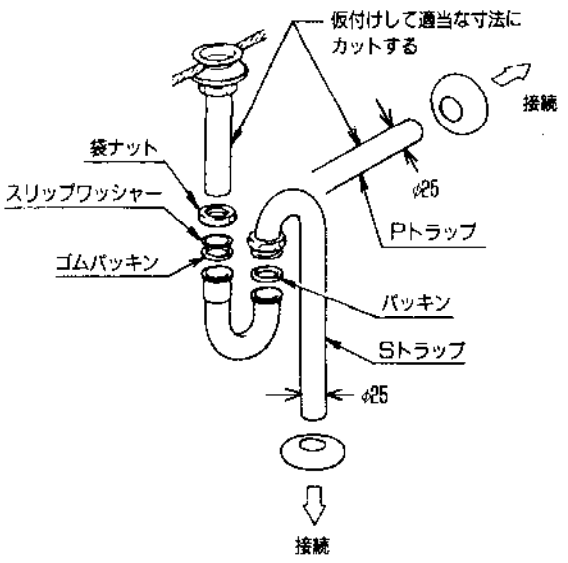
※ブラケットとねじの間にナイロンワッシャー(付属部品)を入れて固定してください。

9 給排水の接続

(1)給水・給湯管の接続



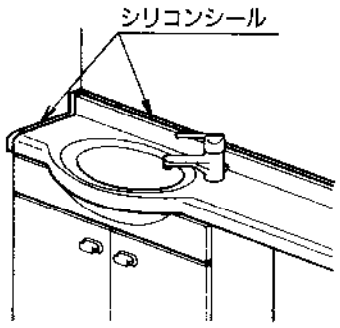
(2)排水トラップの接続



※各接続部からの水漏れのないことを確認してください。

10 カウンター周囲のシール

カウンターが壁に接する面はシール材でシールします。



※接合部にはマスキングテープをしてシーリングしてください。

11 ミドルキャビネットの壁固定

ミドルキャビネットの取付位置を確認し、キャビネット内側より壁固定用ねじ(φ4.0×　㎜付属部品)で壁に固定します。
(左右および上下　4箇所)

施工後の確認

●キャビネット本体の確認

①キャビネットの取付ねじが十分に締まっているか、ゆるみがないか確認してください。
②キャビネット自体にガタツキ、壁とキャビネットの隙間がないか確認してください。
③ねじのゆるみ、キャビネットのガタツキがある場合は必ずねじ位置をかえて取り付け直してください。

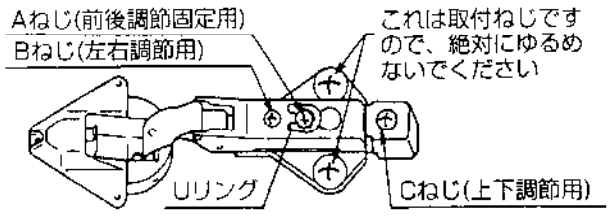
●吐水量、排水量の確認

①洗面器の排水栓を閉じて水を満水にし、吐水させて洗面器から水があふれないよう(オーバーフロー能力の範囲以内)水側、湯側の止水栓の開閉をして流量調節してください。(2)　排水栓を開け、水を一度に排出し、トラップ、排水管の各接続部からの水漏れのないことを確認してください。

扉の調節

⚠ 注意

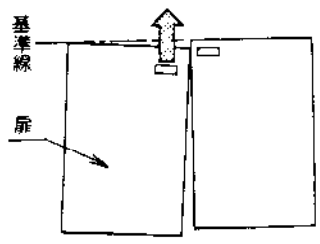
調節後は必ず、Aねじ、Bねじ、Cねじ、が固く締め付けられていることを確認してください。
※締め付けが不足しますと蝶番がゆるみ、扉の外れ、落下によりケガをする恐れがあります。



各ねじの調整量
Aねじ……前後方向に2～3㎜
Bねじ……左右方向に2～3㎜
Cねじ……上下方向に3㎜

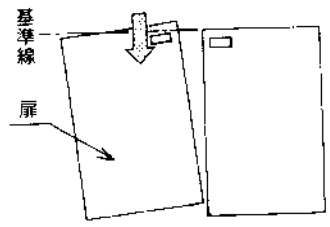
●扉の先端が下がっているとき

①扉下方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、Bねじを約一回転ほど右へ回す。
または扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、Bねじを約一回転ほど左へ回す。
②Aねじを右へ回して締め付ける。
③扉を閉めて確認する。
④正しい位置になるまで①、②を繰り返す。



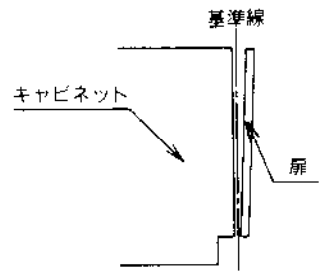
●扉の先端が上がっているとき

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、Bねじを約一回転ほど右へ回す。
または扉下方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、Bねじを約一回転ほど左へ回す。
②Aねじを右へ回して締め付ける。
③扉を閉めて確認する。
④正しい位置になるまで①、②を繰り返します。



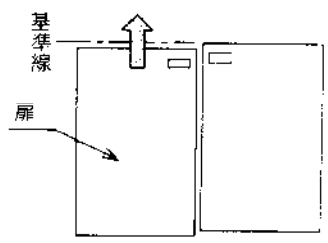
●扉と側板のすき間が上下異なるとき

①扉上方の蝶番のAねじを左へ回してゆるめ、扉を動かして前後の正しい位置にする。
②正しい位置でAねじを右へ回して締め付ける。



●扉の位置が上下異なるとき

①扉の上下の蝶番のCねじを左へ回してゆるめ、扉を上下させて正しい位置にする。
②正しい位置でCねじを右へ回して締め付ける。



アドバイス

2枚扉（両開き）の場合で、片方の扉だけで調節できないときは、左右の扉で交互に調節を行ってください。

⚠ 注意

「トールアッパーキャビネット」「トールキャビネット」「アッパーキャビネット」「ミドルキャビネット」の扉の蝶番のAねじには、蝶番外れ防止用のUリングがはめてあります。調節の際になくさないようにしてください。また、調節後Uリングがきちんとはまっているかご確認ください。もしUリングをなくされた場合は取扱店または当社支社・お客さま相談室などへご連絡ください。扉を外して施工された場合でも、Uリングをきちんとはめてください。
※Uリングがないと、蝶番のAねじがゆるんだ場合、扉の外れ落下により、ケガをする恐れがあります。